

壮年期からのお口のケア

40 歳以降は、年齢とともに**歯周病**(歯肉炎、歯周炎)が進行し、**歯根にむし歯が多発しやすくなる**ため、喪失歯も多くなります。

また、時間的に通院が困難な場合が多く、手遅れになりがちのため、3ヶ月〜半年に1度は定期健診を受けることが大切です。

■歯間ブラシを併用した歯みがきを

歯肉が下がり、歯と歯の間にすき間がある場合は補助的清掃用具(歯間ブラシやフロスなど)を併用しながら、歯と歯の間の**プラーク(歯垢)**を上手に除去することが大切です。人工歯(ダミー)の下も補助的清掃用具を使って磨きましょう。

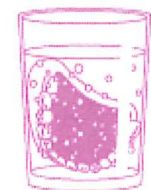


■入れ歯(義歯)と残っている歯のお手入れ

部分入れ歯の場合、金属のバネ(クラスプ)の部分は義歯ブラシや歯ブラシを使って、ていねいにみがきましょう。また、バネをかける歯も注意してみがきます。

義歯洗浄剤を使うと効果的に清掃できます。

歯が抜けているところは、歯ブラシを横から入れて、残っている歯にきちんとあてて、細かく動かしてみがきましょう。



間違ったブラッシングをしていると、入れ歯や歯ぐきを傷つけたり、磨き残しが出来たりします。

◆ブラッシングの仕方など、ご遠慮なくご相談下さい。

フォース歯科の訪問歯科診療

寝たきりで歯の治療に通えなくなった、高齢者の自宅や入所施設に歯科医師や歯科衛生士が訪れる「訪問歯科診療」を当院では、平成17年の開院以来実施しております。介護をする場合、見落としがちなお口の中のケア。お口の中をきれいにすることで、**細菌が多い唾液などが気管に入っておこる誤嚥性肺炎の予防**や、口臭が改善されたりして、よりよい生活につながります。



訪問歯科診療が望ましいケース

- 1、歯をブラッシングすると出血して痛み、拒否する。
- 2、最近軟らかいものばかり好んで食べるようになった。
- 3、食事に時間がかかるようになった。
- 4、食事でもせることが多くなった。
- 5、口臭が強くなった。
- 6、口が乾いている。
- 7、「胃ろう」などで栄養を摂取しており、口を使っていない。
- 8、介護する側が、義歯の取り外し方や清掃方法を知らない。
- 9、使っている義歯が合わなくなった。

■気になる事があれば、ご相談下さい。

医療法人メディカルフォース フォース歯科

〒007-0813
札幌市東区東苗穂 13 条 1 丁目 2-1
フリーダイヤル: 0120-130-554
<http://www2.snowman.ne.jp>

■診療時間■

月～金曜日 10:00～19:00
土曜日(第1,3,5) 10:00～16:00
休診日: 土曜日(第2,4)・日曜日・祝祭日

